

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立八町小学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注 1}

☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注 2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

所在地 〒440-0806

愛知県豊橋市八町通五丁目5番地

E-mail hacchou-e@toyohashi.ed.jp

Website http://www.hacchou-e.toyohashi.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 95 名 女子 89 名 合計 184 名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校では、ESDを自分たちが住む町の文化や人のつながりについての学習を深め、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育であると捉え、その資質・能力の基礎的な部分を育てることを、ESD活動の目的としている。そのために本校では、地域と関わる活動を以下の4つに設定している。①地域の歴史や文化にふれる活動、②地域の施設を知る活動、③地域の人々とふれあう活動、④行事等に関連づけた活動

① 地域の歴史や文化にふれる活動

地域の伝統や文化への理解を深めることで、地域とのつながりを尊重し、将来にわたって地域の一員として生活しようとする気持ちを高める。

- ・校区内にある「安久美神戸神明社」の秋祭や鬼祭、「吉田神社」の祇園祭の学習と祭りへの参加。
- ・豊橋筆づくりの体験と学習。

② 地域の施設を知る活動

地域の特色を知るとともに、地域への愛着心を育み、地域のために自分たちができることを考え、実践する。

- ・ 豊橋公園の探検
- ・ 吉田城、ハリストス正教会、豊橋市役所、豊橋市美術博物館、豊橋市公会堂等の見学
- ・ 福祉施設の見学、福祉体験

③ 地域の人々とふれあう活動

地域に暮らす人々との交流を通して、思いやりの心を育てる。

- ・ ふれあい集会で地域のお年寄りを招待しての交流活動
- ・ 地域の商店や農家の仕事調べと体験
(八町もちや・朝倉弓具店・加藤米穀店・マルサコンニャク)
- ・ 昔の暮らし、昔の遊び、戦争体験・豊橋空襲等をお年寄りから学ぶ

④ 行事等を関連づけた活動

保護者、地域住民に教育活動の成果を示すことで、人との関わり、つながりを重視していく姿勢を養う。

- ・ 運動会、学芸会、夏休み作品展、授業参観、学校開放
- ・ P T A主催の八町まつり
- ・ お世話になっている校区の方を招いて「ありがとうの会」(感謝の気持ちをこめて一人一鉢運動で育てたパンジーの花をプレゼント)



① 豊橋筆づくり体験・4年



② ハリストス正教会見学・6年



③ 昔の遊び体験・1年



④ ふれあい集会・全校

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他(地域の歴史・施設を知る活動、地域の方とふれあう活動)		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

「かがやく豊橋」	豊橋市教育委員会
「豊橋鬼祭」	豊橋鬼祭保存会
「八町子ども風土記」	豊橋市立八町小学校
「知るほど豊橋」	豊橋広報広聴課
「校区のあゆみ八町」	豊橋市総代会
「八町校区文化財マップ」	八町文化協会

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

子ども達が自分の住んでいる八町について知り、自分の思いをもって八町を語り、八町を愛することができるようになれば、社会を理解し、協調して共に生きようとする子どもが育つと考えた。そのため本校では、次の2点を考慮してESDカレンダーを作成して実践している。

- ・ どの学年にも地域と関わる教育活動を設定する。
 - ・ 学年に応じた活動
 - ・ 地域で学ぶ→地域を知る→地域に生きる
- ・ 生活科・総合的な学習にとらわれず、各教科においても地域力を活用する。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

教科や教材のつながりを明確にしたESDカレンダーを作成することで、教師が見通しをもって単元を構成することができるようにする。ESDの視点に立ち、教科・領域を合科的に扱った単元を設定することで、子どもたちが教科の学びと今日的な課題のつながりに気づくことができるようにする。子ども達の思考力・判断力・表現力が高まるように、ESDの視点に立った学習指導では、「一人調べ」を基にして「関わり合い」「話し合い」「振り返り」を重視した授業展開の工夫をする。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

児童の取り組みの成果を、事後のまとめや感想、発表等から把握する。また、学習や活動のまとめとして、授業参観や作品展示会を行う。行事等での成果の発表や地域への発信の様子を観察して、関心・意欲・態度を評価する。また、以下のことも実施してESD活動の更なる充実を図る。①各行事後のアンケート結果や12月に行う「学校教育に関する改善検討アンケート調査」等から、「地域学習の有効性」「地域への愛着と誇りの意識変化」等を見直す。②年3回行われる学校評議員会でこれらを伝え、助言をいただく機会を設ける。③ESDカレンダーを見直し、地域学習に関する具体的な活動内容の改善を図る。④新規の地域の人材登用や教材開発を行う。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

授業参観や作品展示会、行事等で活動の成果を発表する。「八町だより」「八町小学校だより(校長通信)」等で、活動の様子や子どもの感想を地域・保護者に知らせる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

教科や教材のつながりを明確にした ESD カレンダーを作成することで、教師が見通しをもって単元を構成することができた。専門家や地域の人々から学ぶ授業を通して、長い経験から生まれるこつや、その人の思いにまでふれることができた。子どもたちは、知的好奇心を刺激されて、自らの思いを見つけた。授業の振り返りを重視したことで、「話し合い」では気づかなかった視点を友達から得ることができた。多くの意見を取捨選択して自分の考えを再構築して、思考力・判断力の向上につながった。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400 字程度）

本校は約 140 年の歴史をもち、豊橋の中心部に位置し、国道 1 号線をはさんだ校区である。校区には、文化財・史跡・自然が数多く残されている。周辺には、吉田城、豊橋公園、豊橋市公会堂、豊橋ハリストス正教会、豊橋市役所、豊橋市美術博物館、豊橋市陸上競技場などがあり、古い歴史が息づく恵まれた環境にある。吉田神社の祇園祭や安久美神戸神明社の鬼祭では、該当する町内の児童が重要な役割を担い、地域の方々から伝統ある振る舞いや踊りを伝承している。国から伝統的工芸品の指定を受けた豊橋筆を作る伝統工芸士の方が校区に在住しており、4 年生では体験や学習を行っている。また、校区老人クラブの方々も、1・2 年生のもちつきや昔の遊び、6 年生の戦争体験・豊橋空襲など、学校行事や学習のお手伝いに参加していただき、子ども達と積極的に関わってくれている。来年度も、本年度と同様の学習を継続するとともに、新たな地域の「ひと」「もの」「こと」を開発していく予定である。